



尻家レント君



## 東京オリンピック 正式種目に決定!

# スケートボードに 夢かける少年たち

宮本リオ君



レッスンを指導していた奥野ヘッドコーチは「リオはチャレンジ精神が旺盛で、今テクニク（技）を増やすことに励んでいます。この調子で進めばプロも目指せるでしょう。少し怖がりですが慎重なところがあるが、性格が明るいですので頑張るでしょう。」と期待を示す発言。再び始めた練習で技が決まると「よっしゃー」と観覧席からお母さんの掛け声。リオ君、Cクラス頑張れ!

午後6時になりAクラスのレッスンは始まりました。この日は10名の小学生。15分のウォーミングアップのあと、全員集まって指導のコーチの先生に挨拶。すべてはまずマナーから、コーチのリードでボードを使ってパークを巡ります。この日初めてボードに乗った尻家レント君、来年1月で5歳になります。小学2年生のお兄ちゃんをやっているの少し早いが入学したとの事。最初は片足でボードを滑らせていましたが、コーチに支えられてボードに乗り2〜3回滑るともう両足の位置や重心の取り方を会得。レッスン時間は30分ずつ2回、合計60分で終えますがその頃にはもう30度勾配のスロープにトライしていました。

このスクールは現在生徒数約300人、ビギナークラスからA・

国道310号線を亀の甲交差点から南へ下り、榎本病院を過ぎて滝谷病院の手前左側にブルーの外壁に囲まれたキュービク的な建物が姿を見せます。PSJスケートボードアカデミー本校と書かれた日本語と英語の看板、角のタワーにクラス内容が大きく記されています。日も傾き始めた午後4時頃からスケートボードを抱えた少年達（中には少女も）が、三三五五集まってきました。冬のオリンピック競技でその大胆なアクションから衆目を集めるスノーボードの夏版とも言えるスケートボード。今回2020年の東京オリンピックではじめて正式競技に採用され、また一つ若きアスリート達の夢を育てるスポーツとなりました。すでに日本選手権で優勝した青木勇貴斗君（15歳）の名がクローズアップされています。そこでAGUAはこのスケートボードスクールを訪ねてみました。

このスクールへの入学対象年齢は危険度も考え、5歳以上となっています。ゼッケンを付けた練習着にヘルメットを被り、膝や腕をパッドでプロテクトした姿は小さいながら一人前の格好良さ。付き添いのお母さん達も嬉しそう。訪れたこの日のAクラス（初級）のレッスンは午後6時から始まりま

B・C・Dと上級に進みます。また大人クラス、レディースクラス、エキスパートクラスと別科があります。施設は室内・屋外にそれぞれパークを設置、充実したスケートボードセクションを備えてスクール認定のコーチ陣が技術指導をはじめルールやマナーについての基本レッスンを行的精神面でのモラル向上に努めています。こうした環境の中でスケートボードが東京オリンピックの正式競技に決まった今、オリンピックへの選手輩出も視野に入れ生徒達の指導にあたっています。少年達の夢づくりをサポートする場がまた一つ大阪狭山市に生まれています。



①



## PSJ スケートボード アカデミー



大阪狭山市東くみの木4-2108-1(草津交差点角)  
TEL:072-367-8154  
HP: <https://www.skateboards.jp>  
[営]12:00~20:00(土日祝は9:00~20:00)  
[休]不定休 詳しくは問合せ



が、それまでは個人練習ができません。パークと呼ばれる練習フロアに設置された階段の手すり（ハンドレール）の上をボードで滑る練習を休むことなくずっと続けている少年がいました。コーチが付いていたので頼んで少し話をしました。この少年宮本リオ君（小学2年生）スケートボードを始めようとしたきっかけは…？

ボール競技が苦手だったので、この体験レッスンを受けておもしろかったから。

練習はどう？

苦しいときもあるけど、ほとんど楽しい。

ただ、自分の力がついていかなるときは嫌になる。

見ている結構危険そうだけど、怪我は？

しょっちゅう。

捻挫・打撲であざだらけ。でも未だ骨は折ってない。

怖くない？

うん、ちょっと怖いこともある…。

目指している選手は？

このスクールの先輩のプロ長井太雅さん

リオ君の将来の夢は？

プロになりたい！